

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

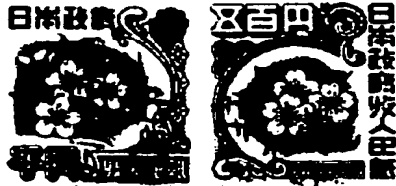
Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**



(1,500円)

実用新案登録願 Ⅲ

昭和47 年 9 月 20 日

特許庁長官 殿

考案の名称

ヘッドホン・クッション

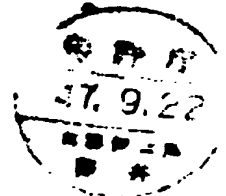
考案者

〒オ ヤマヤシロウ
大阪府八尾市北久宝寺1丁目4番33号

ホシデンキ セイソク
星電機製造株式会社内

イン ガイ ショウ ソウ
磯 上 周 三

同 同所 オオ ニシ ヤス オ夫
大 西 康 夫



実用新案登録
出願人

〒オ ヤマヤシロウ
大阪府八尾市北久宝寺1丁目4番33号

ホシデンキ セイソク
星電機製造株式会社

坂崎役社長 フル ヘン ヤト夫
古 藤 了

代理人

東京都新宿区百人町一丁目19番13号 (浅川ビル)

TEL 東京 (363) 0580

6615

弁理士 草 野

卓

添附書類の目録

- | | | | | |
|---|---|---|---|-----|
| ① | 明 | 細 | 書 | 1 通 |
| ② | 図 | | 面 | 1 通 |
| ③ | 委 | 任 | 状 | 1 通 |

47 110002

1. 考案の名称

ヘッドホンクッション

2. 実用新案登録請求の範囲

クッションの少くとも一面が通気性布で被われ、
上記クッションの他面の周辺部にこれに沿つた軟
質合成樹脂フィルムよりなる巾広のリング状保持
部が配され、該保持部と同質材の組に抑え部と該
保持部とが上記通気性布の周縁部を挟み互に落着
されてなるヘッドホンクッション。

10

3. 考案の詳細な説明

この考案はヘッドホンの耳との対接部に取付け
られるクッションに関する。

ヘッドホンクッションは耳との当りが軟らかで
かつ音の漏れがないことが要求されるが、その他
安価で、しかも汚れた場合に洗うことができ又は
取替えるために取外し自在にされることが望まれ
る。

15

この考案ヘッドホンクッションは安価で取外し
ができ、しかも丈夫なものを得んとするものであ

20

る。

以下この考案によるヘッドホンクッションにつき断面を参照して説明しよう。

第1図において1は左右の耳の一方に当てられるべきヘッドホン本体を示し、本体1の耳との対接面1aにヘッドホンクッション2が取付けられる。ヘッドホンクッションは例えば耳との対接面1aの略全面と対向して合成樹脂材のスポンジなどの弾性材よりなる厚い円板状のクッション3が配され、クッション3の外面即ち耳と対接されるべき面及び側面はナイロン糸や絹糸を織つた通気性布4にて被われる。

この考案においてはクッション3の耳と対向せざる面の周辺部と対向して軟質合成樹脂フィルム、例えば塩化ビニルフィルムよりなる巾広のリング状保持部5が配される。この保持部5と同質材の細い抑え部6とにより通気性布4の周縁部を挟み互に密着される。即ち通気性布4の周縁部は外方に僅か折曲げ延長され、この延長部を保持部5の外周部及び抑え部6にて挟んで密着される。

この構成によれば、保持部 5 とクッション 3 との間に、本体 1 の耳との対接面 1 8 に一体に形成した周縁 7 を嵌め込み、ヘッドホンクッションが本体 1 に取付けられる。保持部 5 として軟質合成樹脂材が使用され、よつて合成樹脂材の弾性、伸縮性を利用して、ヘッドホンクッション 3 を本体 1 に容易に着脱できる。

クッション 3 は通気性布 4 で被われているため、汚れた場合は通気性布 4 のみを洗い、又は取替えることができる。また通気性布 4 が耳部分と対接するため、長時間使用しても汗ばむことがない。通気性布 4 の代りに人造皮革を使用する時は、高価な上に長時間使用すると汗ばむ。

更にこの考案ヘッドホンクッションは丈夫なものとなる。即ち通気性布 4 と保持部 5 とのみを熱溶着させる場合は溶融温度差により通気性布 4 と保持部 5 とのなじみが悪く、剥れ易いものとなる。しかしながらこの考案ヘッドホンクッションにおいては同質材の保持部 5 と抑え部 6 とで通気性布 4 が挟まれ、この通気性布 4 の目を通して保持部

5 と抑え部 6 とが互に熱溶着され、これ等三者は、
強固に一体化される。

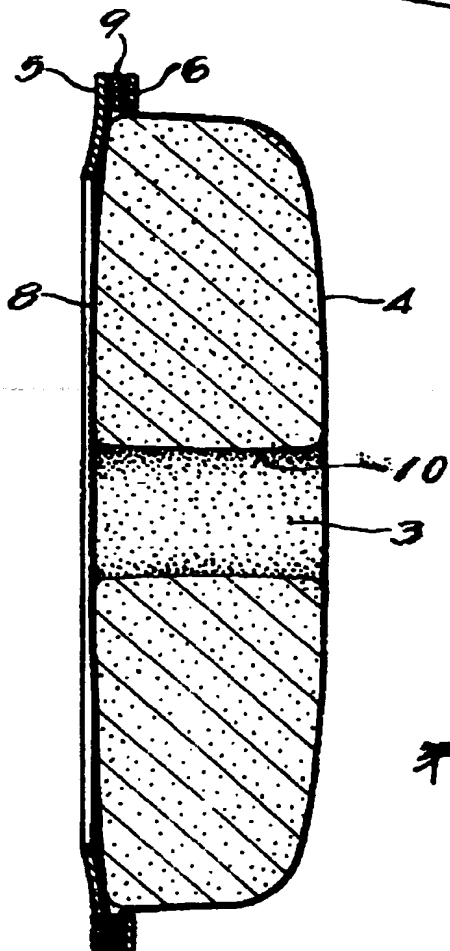
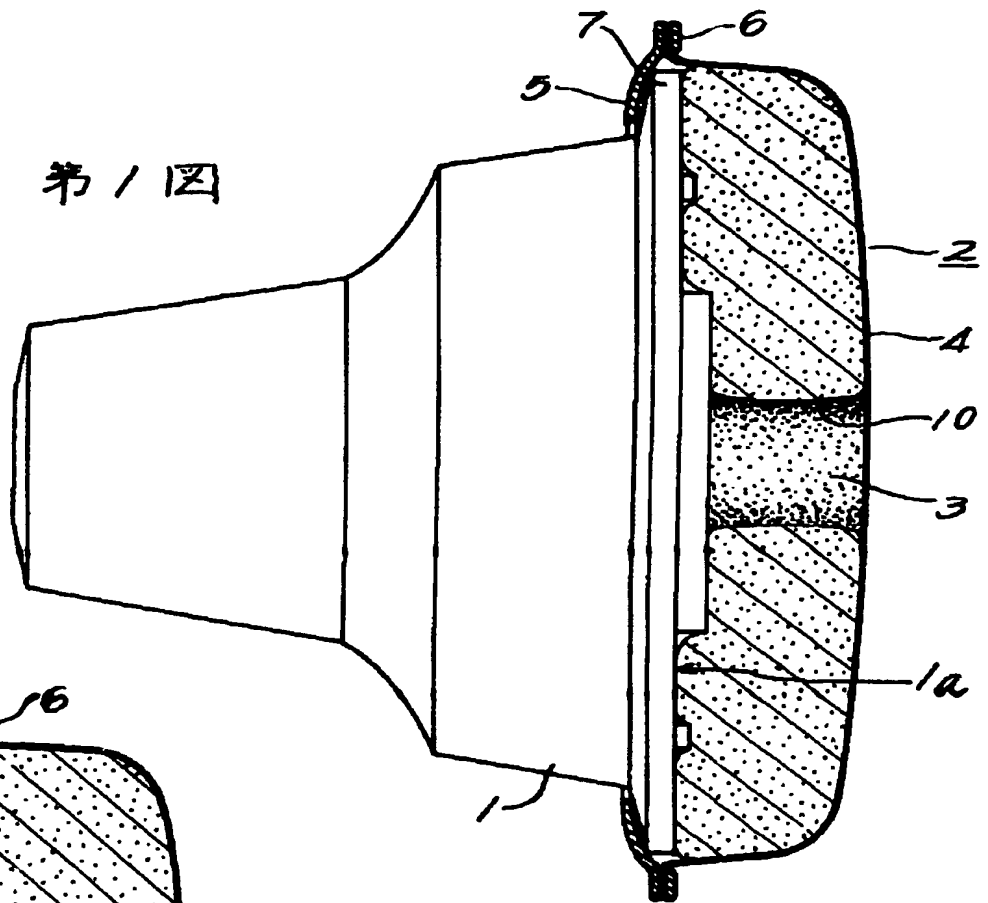
第 2 図に示すようにタツシヨン 3 の両面も通気
性布 4 , 5 で被り場合は、これ等布 4 , 5 の周縁
部を保持部 5 及び抑え片 6 で挟むと共に布 4 , 5
の周縁部の間に更に保持部 5 と同質材のリング状
補助片 9 を介在させて全体を熱溶着するとよい。
タツシヨン 3 としては第 1 図 , 第 2 図に点線にて
示すように、中心孔 10 を形成したものを使用し
てもよい。またリング状タツシヨンが使用され、
その内周面にも通気性布が被われた場合にも本考
案は適用できる。

4. 図面の簡単な説明

第 1 図はこの考案によるヘッドホンタツシヨン
の一例を示す断面図、第 2 図はその他の例を示す
断面図である。

1 : ヘッドホン本体、 2 : ヘッドホンタツシヨ
ン、 3 : タツシヨン、 4 : 通気性布、 5 : 保持
部、 6 : 抑え部。

第1図



第2図